

財団法人国連大学協力会では、以下のとおり個人情報保護方針を定め、これに基づき協会がお預かりしている皆様の個人情報保護に努めています。

1. 法令・規範の遵守

協力は、個人情報について関係法令その他の規範及び協力会策定にかかる各種規範等の定めるところに従い、協力会において業務に従事する全ての者に対してその周知・徹底を図り、適切にこれを取り扱います。

2. 個人情報の適切な収集・利用・提供

(1) 個人情報の収集に当たっては、予め利用目的を明示し同意をいただいた上で、必要な範囲の情報を収集し利用します。

(2) 協力会では収集した情報を共有できる範囲を予め定め、断りなくその共有範囲以外である第三者

に個人情報の提供はいたしません。

3. 個人情報の安全対策

個人情報の漏えい、滅失、き損の予防・是正のため、協力会内における内部規程を整備し安全対策に努めます。

4. 改善措置

個人情報の取扱に関する社会環境の変化に的確に対応するよう努めます。また必要に応じて本方針をはじめ各種規程等につき、変更・修正・または追加を行うなど、改善をつくすよう努めます。

5. 開示・訂正請求等への対応

協力会の保有する個人情報について本人から開示・訂正・利用停止などの要求、及び問い合わせがあった場合には、ご本人であることを確認させていただいたうえで適正に対応いたします。

財団法人国連大学協力会 賛助会員規則

(目的)

第1条

この規則は、財団法人国連大学協力会寄附行為第32条の規定に基づき、財団法人国連大学協力会（以下「本法人」という）の賛助会員に関する事項を定めるものとする。

(賛助会員)

第2条

賛助会員は、本法人の運営に関して、財政的に寄与するもので、次の三種類とする。

- (1) 学生会員—学校に在籍する児童・生徒・学生
- (2) 個人会員—学生会員以外の個人
- (3) 法人会員—法人およびその他の団体

(申込)

第3条

賛助会員になろうとするものは、申込書を本法人に提出し、理事長の承認を得るものとする。会員には、当該年度有効の会員証を発行する。

(年会費)

第4条

- 年会費は、会員の区別に従い下記の通りとする。
- (1) 学生会員 一口年額 5,000円、一口以上。
 - (2) 個人会員 一口年額 10,000円、一口以上。
 - (3) 法人会員 一口年額 100,000円、一口以上。

(年会費納入)

第5条

年会費は初年度を除き、会員証有効年度の年度末までに納入するものとする。

(更新)

第6条

会員資格は、本人（法人・団体の場合は代表者）

から退会の意志表示がない限り、毎年度年初に自動更新するものとする。

(会員資格の喪失)

第7条

賛助会員は、次の理由によってその資格を喪失する。

- (1) 本人（法人会員の場合は代表者）より退会の意志表示があった場合。
- (2) 年会費未納入の状況が1ヶ月間継続し、事務局からの催促に応じない場合。
- (3) そのほか本法人が会員として不適当と認めた場合。

(既納年会費)

第8条

既納年会費は、これを返還しない。

(特典)

第9条

賛助会員は、本法人と国連大学との協定に基づき、下記の特典を受けられるものとする。

- (1) 国連大学の研究・研修センター等を訪問、見学し、意見交換等の機会を得ること。
- (2) 国連大学刊行物の提供
- (3) 国連大学出版物の割引価格での購入
- (4) 国連大学図書館の図書貸出
- (5) 法人会員においては、国連大学本部ビル内の会議場の借用
- (6) 法人会員においては、国連大学協力会のホームページにおける団体名の掲載
- (7) 法人会員のうち、大学をもつ学校法人においては、国連大学が主催するグローバル・セミナーへの優先的参加
- (8) その他、本法人が認めた特典



このニュースレターは、UNUを支援するためにご寄附下さった方々及び賛助会員にお送りしています。

event

ジュニアフェローシンポジウムを開催します

国連大学協力会(jfUNU)では、国連大学(UNU)との共催により、12月14日(木)・15日(金)、『ジュニアフェローシンポジウム—開発、環境と平和—未来へむけての取組み』を開催します。

これは、UNUの人材育成コース修了生を対象として、ブラッシュアップ研修を行うもので、中国、カメルーン、フィリピン、ブラジルなど、世界17ヶ国から来日する外国人参加者を含めて、約80名の修了生がUNハウスに集合します。

シンポジウムでは、JICA理事長 緒方貞子氏(元国連難民高等弁務官)による基調講演を皮切りに、参加者が自作のポスターによりプレゼンテーションを行う「ポスターセッション」や「開発、環境、平和：私達は どう取り組むべきか」をテーマとしたパネルディスカッション等、多彩なプログラムが2日間にわたり繰り広げられます。

■レセプションパーティーへお越しください

14日(木)の午後6時から、レセプションパーティーを開催します。皆様も、この機会に各国からの参加者やプログラム講師、関係者などと交流を深めていただきたいと思いますので、ぜひUNハウスへお越しください。楽しいアトラクションも用意しています。参加費は無料です。

■レセプションパーティー

●日時：12月14日(木) 18:00～20:00(受付開始17:30) ●場所：UNハウス2Fレセプションホール

■シンポジウムのスケジュール

12月14日(木)	10:00	開会式
	10:40～	基調講演：緒方貞子 JICA 理事長
	12:40～	ポスターセッション
	14:10～	ジュニアフェローズセッション「UNUで何を学び、今何をし、これから何をするつもりか」(発表とディスカッション)
12月15日(金)	16:30～	講演：吉川弘之 jfUNU 理事長
	18:00～	レセプションパーティー
	10:00～	ジュニアフェローズセッション「UNUで何を学び、今何をし、これから何をするつもりか」(発表とディスカッション)
	12:30～	ポスターセッション
	14:00～	パネルディスカッション「開発、環境、平和：私達は どう取り組むべきか」
	16:45～	修了式

request

2007年度賛助会員の更新手続きをお願いします

12月末日をもって、皆様の賛助会員有効期限が終了します。つきましては、12月22日(金)までに更新の手続きをお願いいたします。

■賛助会費の改定について

jfUNUでは、UNUの各種研究・研修活動に対するサポートを今後幅広く強化していく予定ですが、皆様からもよりいっそうのご支援を賜りたく、2007年度より年会費を下記のとおり改定させていただきます。

- 学生会員 1口 5,000円
- 個人会員 1口 10,000円
- 法人会員 1口 100,000円

■更新後にお送りするもの

更新手続きにあたっては、本ニュースレターに同封しました手続き要領に従ってお願いいたします。更新手続き完了後、12月27日(水)頃に下記のものをお送りいたします。

- 2007年度会員証
- 出版カタログ
- 図書館ガイド
- 2007年度カレンダー ほか

■新たな特典を準備中

賛助会員の皆様への特典として、これまで各種イベントのご案内やUNU図書館の利用・貸出サービス、出版物の割引販売等を行ってまいりましたが、それらに加えて新たに、皆様がUNU本部ならびに世界各地にある研究・研修センター(Research and Training Center and Programme)を訪問し、UNUが展開する各種プロジェクトを見学しながら、担当スタッフから説明を受けたり、意見交換を行えるプログラムを準備中です。詳細が決定次第、あらためてご案内いたします。

■新しい賛助会員規則を制定

10月30日に開催された第43回理事会ならびに評議員会において、「財団法人国連大学協力会賛助会員規則」が新たに制定されました。この規則は、賛助会員について、本法人の寄附行為(法人の基本的規則)上に明記したことに伴い、従来の「賛助会員規則」を廃止したうえで制定したものです。

正式には、監督官庁である外務省および文部科学省の認可後に発効することとなりますが、ご参考までに4ページに掲載しましたので、ご一読ください。

report **jfUNU のロゴができました**

jfUNU では、UNU が展開する研究・研修活動について、より広く国民に知ってもらうために、今後広報活動を強化していく予定ですが、そのためのUI戦略の一環として、国連本部および国連関連機関の許可のもとにjfUNUのロゴマークを制定しました。

このロゴマークは、国連のエンブレムをもつ国連大学のヘクサゴンとjfUNUのマークを組み合わせ、地球規模の課題解決を目指すUNUと、その活動を支援するjfUNUの協力関係を表現しています。

●英語バージョン



●日本語バージョン



event **湘南GSを見学しました 熱気に溢れた5日間**

地球規模の諸問題の解決のために、明日を担うリーダーたちを育てようと、大学生・大学院生や若い社会人を対象に行っているUNUのグローバルセミナー。毎年、全国7～8ヶ所（今年は韓国・済州市でも実施）で開催されますが、中でもっとも規模が大きいのが、神奈川・湘南セッション。今年も9月4日から8日にかけて行われたセミナーに、外国人留学生を含む約100名の若者が参加しました。

今年のテーマは「持続可能な平和構築と開発」。世界中で勃発する紛争の火種を根絶し、持続可能な平和を実現させ、さらに貧困や飢餓、差別を撲滅するために、開発はどうあるべきか、私たちにできることは何か、について講師陣による講義や参加者同士の討論、意見交換等を通じて認識と理解を深めました。

最終日には、10名程度に分かれた各グループが、連日深夜までたたかわせた議論の成果を披露。緻密な分析でプレゼンテーションを行うグループもあれば、“異星人が地球にやってきました”と仮定して寸劇スタイルで発表を行うグループもあり、それぞれが趣向を凝らして熱気溢れるパフォーマンスを展開。最後に講評を述べたプログラム委員の先生たちも“You did it!”と参加者たちを賞賛していました。

(事務局：二宮千加司記)

report **ホームページをリニューアルしました**

9月1日よりjfUNUのホームページをリニューアルしました。リニューアルサイトでは、UNUとjfUNUの活動を具体的に紹介するとともに、次のような新たなページを設けています。

■支援キャンペーン

UNUが展開しているさまざまな研究・研修プロジェクトを順次紹介するとともに、資金難に直面し



ている重要なプロジェクトへの支援を呼びかけています。

11月現在「東南アジア山岳地域の環境と人々の暮らしを守る」、「持続可能な開発のための教育プログラム」や「先住民を支援する伝統的知識研究センターの設立」など5つのプロジェクトを掲載しています。
(http://www.jfunu.jp/contents/B_promote/b_01campaign.htm)

■国連大学のグローバルネットワーク

UNUが世界各地に設置している14の国連大学研究・研修センターを世界地図上で紹介しています。機関名にマウスオーバーすると、その機関の所在地・研究内容が表示されます。

(http://www.jfunu.jp/contents/C_activity/c_01network.htm)

■ご支援いただいた方々

ご寄附ならびに賛助会員としてご支援いただいた企業・法人の皆様について、そのご協力に感謝するとともに、これらの皆様が、人類と地球の共生のためにご貢献されていることを広く知ってもらうために、ご芳名を掲載しています。また、ご了承のもとに当該企業のウェブサイトへリンクを行っていません。
(http://www.jfunu.jp/contents/F_member/f_01member_list.htm)



report **2007年度は事業活動を強化 第43回理事会・評議員会報告**

去る10月30日に財団法人国連大学協力会の第43回理事会及び評議員会が開催されました。この理事会及び評議員会では、jfUNUのUNUに対する支援をいっそう強化するとともに、国民のUNUに対する関心と理解をより高めるため、広報活動をさらに充実させることを2007年度の基本方針として決定し、そのための具体的な事業計画ならびに予算案を承認しました。

■UNUへの助成活動

UNUの各種プロジェクトに対する助成にあたっては、UNU関係者との十分な協議のもとに事業を精査したうえで、jfUNUの「助成・寄附諮問委員会」の決定に基づき、従来同様、適正な助成に努めます。

■"サステイナ" 募金計画をスタート

現在UNUは、国連が提唱する“紛争のない平和な環境のもとで、持続可能な開発・社会の実現”のために、さまざまな調査・研究活動や開発途上国を中心とした人材の育成＝「サステイナビリティプログラム」に取り組んでいます。そして「平和とガバナンス」「環境と開発」さらに人材育成のための「能力開発」をメインテーマとして、多様なプロジェクトを展開しています。

このサステイナビリティプログラムは、1992年にブラジル・リオで開催された「環境と開発に関する国際連合会議」や2002年南アフリカ・ヨハネスブルグにおける「持続可能な開発に関する世界首脳会議」などいわゆる「地球サミット」で合意された地球規模の新たなパートナーシップを提唱する「リオ宣言」やその具体的な行動計画である「アジェンダ21」、さらに「ヨハネスブルグ宣言」等を国際的規模で実現していくために、不可欠なプログラムです。

しかし一方で、UNUに対する国連からの拠出金は、国連の財政事情の悪化から年々減少し、プロ

●サステイナビリティプログラムにおけるプロジェクトの例

平和とガバナンス カテゴリー	「武力行使のもたらす問題」 「紛争地域に関する問題」 「人権の問題」 「貧困の撲滅」
環境と開発 カテゴリー	「アジア水圏における水質監視と管理の問題」 「砂漠と水の問題」 「気候変動と環境の問題」
能力開発 カテゴリー	「インターナショナル・コース」 「グローバル・セミナー」 「鳥瞰的環境研究」 「大学院共同講座」

ラムの進捗に、一部困難が見られるのも事実です。そこで、jfUNUでは、UNUのこのサステイナビリティプログラムが実効ある活動を推進できるよう、2007年度より5年間で3億円の募金を集めることを目標とした「国連大学“サステイナビリティプログラム”支援募金計画」をスタートさせ、今後、積極的な募金活動を進めていく予定です。

■広報活動もより強力に

そうしたUNUの取り組みと、左記の募金活動に対する国民や企業等の理解を促進するために、jfUNUでは、広報活動を強化していきます。

●各種広報パンフレットの作成

UNUの「サステイナビリティプログラム」やjfUNUの活動報告等を紹介したパンフレットを作成・充実させます。

●ホームページの充実

本年9月より新しいURLで、ホームページをリニューアルしましたが、今後ともUNUおよびjfUNUの活動状況や、皆様にご参加いただけるイベント情報を逐次掲載するとともに、サイト上から各種手続きが行えるようシステム化を図っていく予定です。

●UNUとの関わりをテーマにした講演会の開催

UNUおよびjfUNUへの関心と支持を高めるため、UNUの活動と人々の生活、さらに企業活動との関連に焦点をあてた各種講演会を企画します。

●研修コース修了生の同窓会を支援

UNUの実施するグローバル・セミナーをはじめとした各種研修コース修了生が、研修後も長期間にわたって相互に情報交換を行い、いろいろな活動の場面でリーダーシップを発揮できるよう、同窓会組織の実現を支援します。

●ジュニアフェロー・シンポジウムの開催

2006年度より実施するジュニアフェロー・シンポジウムを継続して実施し、研修修了生のブラッシュアップを図ります。

【お問い合わせ】

UN 国連大学協力会
Our Hope for Humankind

〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70
TEL:03-5467-1368 FAX:03-5467-1349
URL <http://www.jfunu.jp/> E-mail jf@unu.hq.edu